

令和5年度

四万十町を元気にする 地域ビジネスアイデアを ゼロから作るワークショップ

第二回 ビジュアルレポート

作成：

高知大学 地域協働学部 コミュニティデザイン研究室



- **日時** : 令和5年10月21日（土） 13:00～18:00
- **会場** : 四万十町 農村環境改善センター 2階 大会議室
- **主催** : 四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- **実施内容** : ビジネスの手法を用いて地域や社会の課題解決に取り組む「地域ビジネス（コミュニティビジネス）」に注目が集まっている。まちづくりや地域観光、教育、福祉、子育て、6次産業、商品開発など、地域の多様な資源を活かしながら目の前にある様々な困りごとや課題の解決を目指す、地域ビジネスのアイデアを事業にするための一連のプロセスをワークショップ形式で体感しながら学んでいく。

【タイムライン】

| Time | Theme |
|-------------|--------------------|
| 13:00-13:10 | チェックイン |
| 13:10-13:40 | チームアイデア作成 |
| 13:40-15:10 | 事業創造のプロセスと中核要素 |
| 15:10-15:30 | 課題解決フィットの重要性 |
| 15:30-16:00 | (グループワーク) 検証シート作成 |
| 16:00-16:20 | プロトタイピングの方法 |
| 16:20-17:45 | プロトタイピング |
| 17:45-18:00 | 検証方法&ピッチ方法・次回までの課題 |

四万十町を元気にする

地域ビジネスアイデアを ゼロからつくるワークショップ

「地域課題をビジネスの力で解決する」
「地域資源を活かした商品やサービスをつくりたい」
「自分らしく地域で仕事をしたい」



ビジネスの手法を用いて地域や社会の課題解決に取り組む「地域ビジネス（コミュニティビジネス）」に注目が集まっています。

本講座では、まちづくりや地域観光、教育、福祉、子育て、6次産業、商品開発など、地域の多様な資源を活かしながら

目の前にある様々な困りごとや課題の解決を目指す地域ビジネスのアイデアを事業にするための一連のプロセスをワークショップ形式で体感しながら学んでいきます。

**託児
あります！**
・
参加費無料

本講座の特徴

- ✓ 地域ビジネスの基本的な考え方をゼロから学べます
- ✓ ワークショップを通じて地域ビジネスの事業アイデアを具現化していきます
- ✓ 受講生同士が対話を通じてそれぞれの想いやアイデアを具体化していきます

対象

- ✓ 四万十町を拠点に地域ビジネスで起業したい方
- ✓ 自分の好きなことや大切な想いを形にしたい方
- ✓ 新しい働き方・まちづくりに関心のある方
- ✓ 自ら運営する NPO・地域団体等の活動や事業をブラッシュアップしたい方
- ✓ 地域の未来に想いのある人とつながって地域を盛り上げていきたい方 など

日程・内容

| 第 1 回 | 第 2 回 | 第 3 回 |
|------------------------|------------------------------------|--|
| 9/23(土) 13:00-18:00 | 10/21(土) 13:00-18:00 | 11/18(土) 13:00-18:00 |
| 地域ビジネスの 始め方を学ぶ | 顧客と課題を定義し、 アイデアをカタチにし、 テストする | ビジネスモデルの 構築と実現に向けた アクションプランを 策定する |

主催：四万十町
協力：高知大学地域協働学部 コミュニティデザイン研究室

プログラム

第 1 回
「地域ビジネスの始め方を学ぶ
—自分の想いと地域課題を見つけ、課題解決に向けたアイデアを描く—

地域ビジネスは、一人ひとりの強い想い（原体験、好き・嫌い）の存在と、身の回りにある困りごとや悩み事、解決したい地域課題を特定することが大事になります。ここでは、自分の好き嫌いを見つめ直し、身の回りにある地域の課題を洗い出し、それらを起点に取り組んでみたい地域ビジネスのアイデアの描き方を学びます。

第 2 回
「顧客と課題を定義し、アイデアをカタチにし、テストする
—ユーザーリサーチの方法を学ぶ—

自分たちが救いたい顧客（ペルソナ）は誰なのかを具体化し、その顧客がまだ気づいていない本当に解決してほしい潜在的な課題を特定するための方法を学びます。そのうえで、第1回で描いたアイデアの修正を行い、必要最低限の要件を備えた試作品（プロトタイプ）を作成し、アイデアの検証に向けた確認事項を明らかにしていきます。

第 3 回
「ビジネスモデルの構築と実現に向けたアクションプランを策定する
—持続可能なビジネスモデルを設計し、協力体制を築く—

持続可能な事業として展開できる「ビジネスモデル＝誰に何を提供し、どうお金得るか」を構築し、図解します。そのうえで、実現に向けたアクションプランを考え、地域の人、組織とどのような協力を引き出すことが必要か整理していきます。

募集概要

- 募集人員：10 名
- 受講料：無料
- 申込方法：
右下の QR コードを読み込んで申込フォームから応募いただくか、お電話・メールにて **9月14日(木) 正午**までに事務局にお申し込みください。
- 場所：
第1回：四万十町農村環境改善センター 2階 大会議室（高岡郡四万十町榊山町 3-7）
※第2回以降は、お申し込みいただいた方のみにも通知いたします。
- 特典：
・地域ビジネスに関する基本的考え方をまとめたオリジナルテキスト『地域ビジネス実践ガイド』をプレゼント
- 注意点：
・全3回、出席できる方を優先します
・講座は受講生同士の対話や、グループワークを中心に進めていきます
・講座と講座の間にチームでフィールドワークやインタビュー等を行う場合があります
・ご自身に明確なアイデアがない方でも大丈夫です
・最終回には、事業アイデアをポスター等に取りまとめて発表します

お申し込みは
こちらから



運営・進行

須藤 順 氏
(高知大学地域協働学部 准教授)



専門は、社会的企業論／社会起業家論・コミュニティデザイン論・ソーシャルビジネス論。四万十町地域イノベーター養成講座や四万十町チャレンジアワードなど、四万十町の人材育成事業をサポート。2018年2月中小企業庁・創業機運醸成賞受賞（「マイプロジェクト手法を活用した学生向けの起業・新規事業開発支援」）

事務局

四万十町役場人材育成推進センター
(担当：中井智之・吉村愛)

〒786-0008
高知県高岡郡四万十町榊山町 3 番 7 号

E-mail：103060@town.shimanto.lg.jp

TEL：0880-22-3163
FAX：0880-22-3345

テーマ

第1回

「地域ビジネスの始め方を学ぶ
—自分の想いと地域課題を見つけ、
課題解決に向けたアイデアを描く」

第2回

「顧客と課題を定義し、
アイデアをカタチにし、テストする
—ユーザーリサーチの方法を学ぶ」

第3回

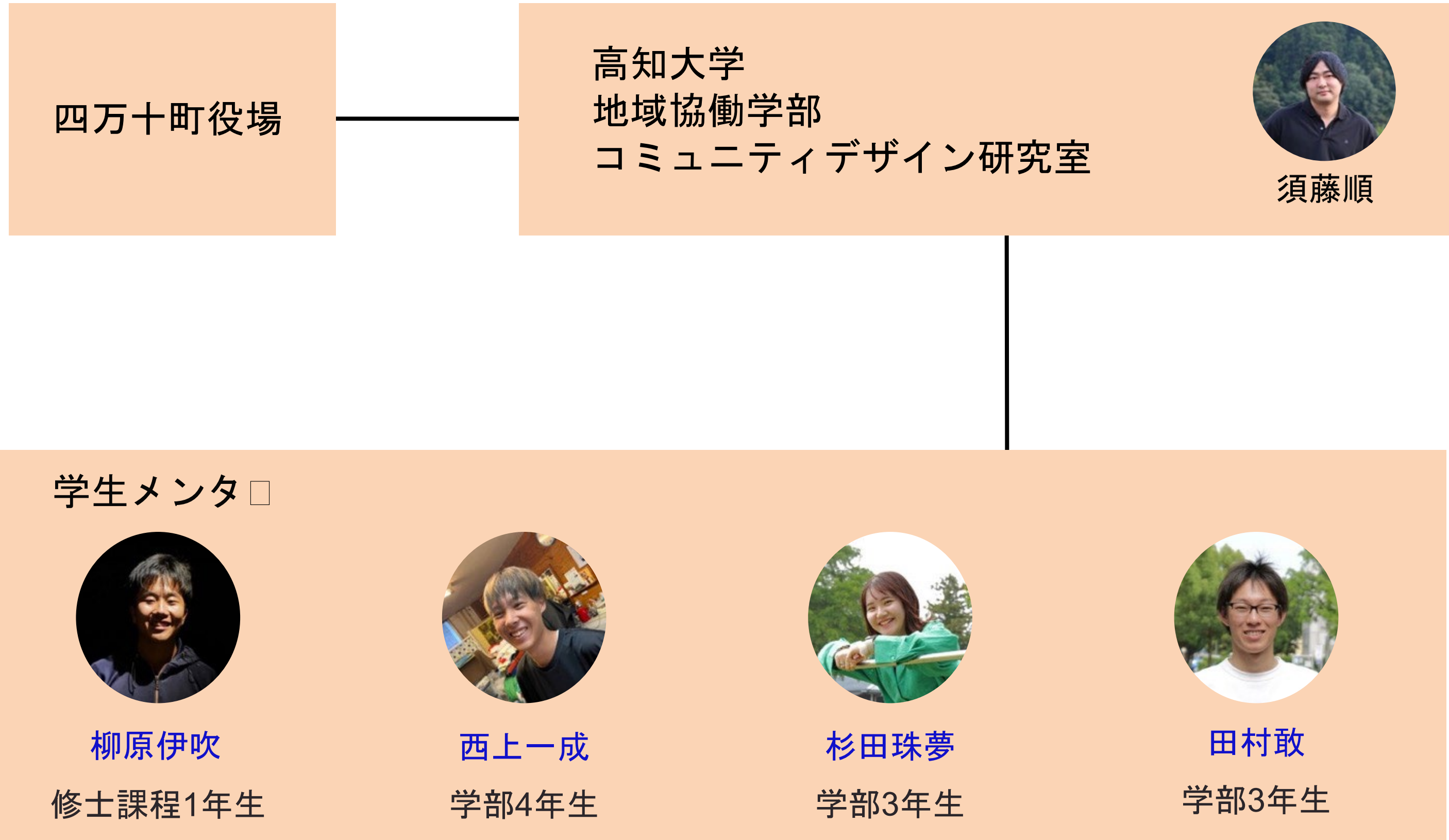
「ビジネスモデルの構築と実現に向
けたアクションプランを策定する
—持続可能なビジネスモデルを設計
し、協力体制を築く」

内容

地域ビジネスは、一人ひとりの強い想
い（原体験、好き・嫌い）の存在と、
身の回りにある困りごとや悩み事、解
決したい地域課題を特定することが大
事になります。ここでは、自分の好き
嫌いを見つめ直し、身の回りにある地
域の課題を洗い出し、それらを起点に
取り組んでみたい地域ビジネスのアイ
デアの描き方を学びます。

自分たちが救いたい顧客(ペルソナ)は
誰なのかを具体化し、その顧客がまだ
気づいていない本当に解決してほしい
潜在的な課題を特定するための方法を
学びます。そのうえで、第1回で描い
たアイデアの修正を行い、
必要最低限の要件を備えた試作品（プ
ロトタイプ）を作成し、アイデアの検
証に向けた確認事項を明らかにしてい
きます。

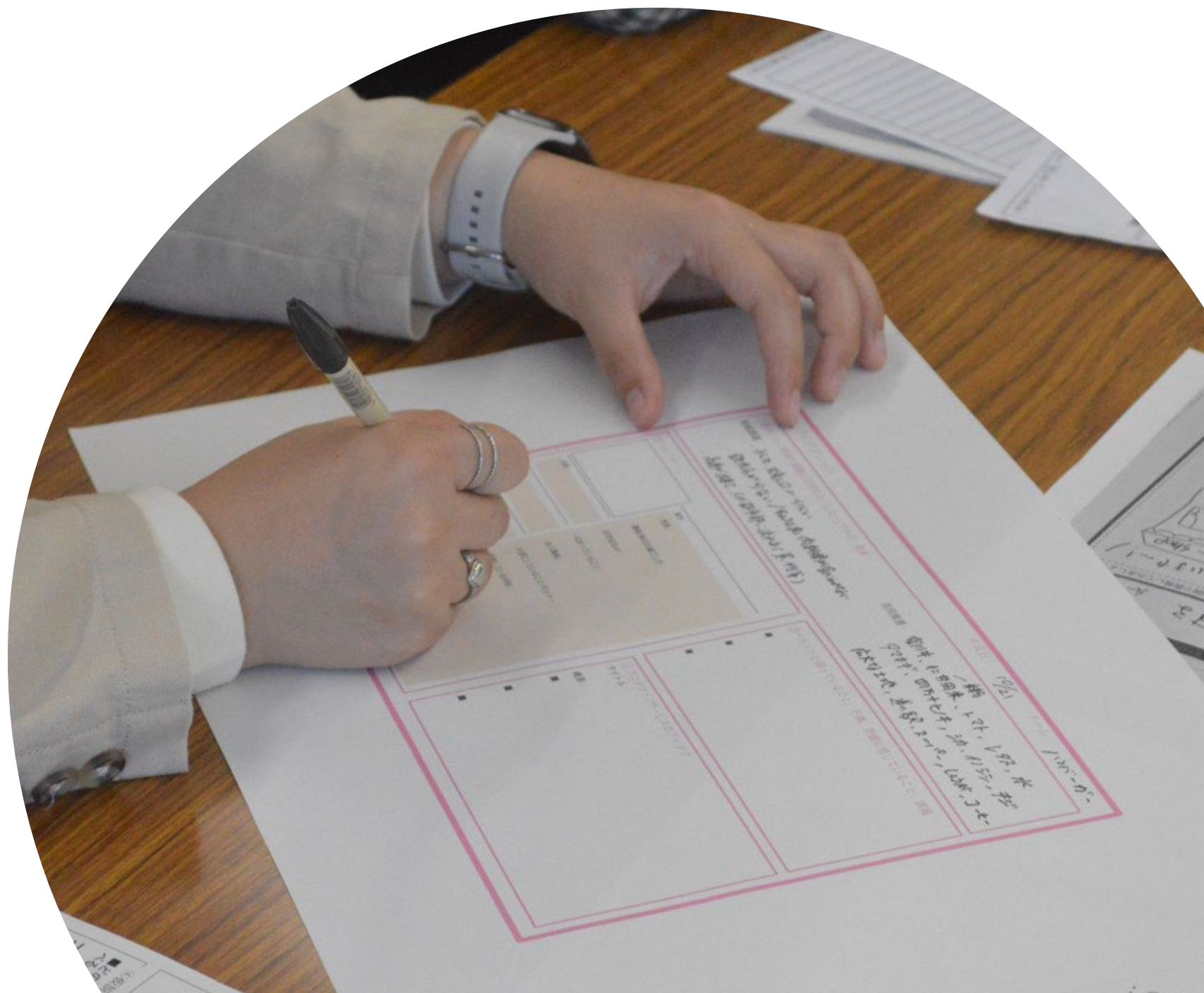
持続可能な事業として展開できる
「ビジネスモデル=誰に何を提供し、
どうお金得るか」を構築し、図解し
ます。そのうえで、実現に向けたア
クションプランを考え、地域の人、
組織とどのような協力を引き出すこ
とが必要か整理していきます。



目の前にある様々な困りごとを一人ひとりが捉え、
課題の解決を目指す地域ビジネスの
アイデアを事業にするための一連のプロセスを
学ぶことで、事業アイデアの具現化を目指す。

- ① 自分の想いと地域課題を見つけ、それを解決するための地域ビジネスを学ぶ
- ② 持続可能なビジネスプランを設計し、協力体制を築く

講座の様子



最初に須藤より本日の講座に関する説明が行われた後、チェックインとして「名前/今の気持ち/今日の講座への期待」についてグループ内で共有を行った。前回の欠席者は全体で自己紹介も行った。グループ内の対話の中では、「宿題のボリュームが多く、難しかったので大変だった」、「チームでのアイデアをどう広げていくか不安」などの声も聞かれたが、「これから講座でアイデアを深ぼることができるのが楽しみ」と語る受講生が多く、前向きな声が聞かれる中で講座をスタートした。



今の気持ちについてグループで対話する様子



チェックインを行うグループの様子



チェックイン時の全体の様子



自己紹介を行う受講生の様子



和気あいあいと対話する受講生



講座について説明を行う須藤

チェックイン後、ワークの実施前に事業アイデアを形にする方法や各シートに関する説明が須藤より行われた。最初に、現時点でのチームアイデアをシートにまとめた。メンバーそれぞれが考えた案を一つのチームアイデアとしてまとめるため、アイデアがまとまらない様子であった。しかし、ペルソナシートやインサイト発見シート等へ記入を行う事でアイデアの要素を整理し、少しずつアイデアがまとまっていく様子が見られた。また、須藤からフィードバックを行う中でアイデアをブラッシュアップさせていった。



インプットに耳を傾ける様子



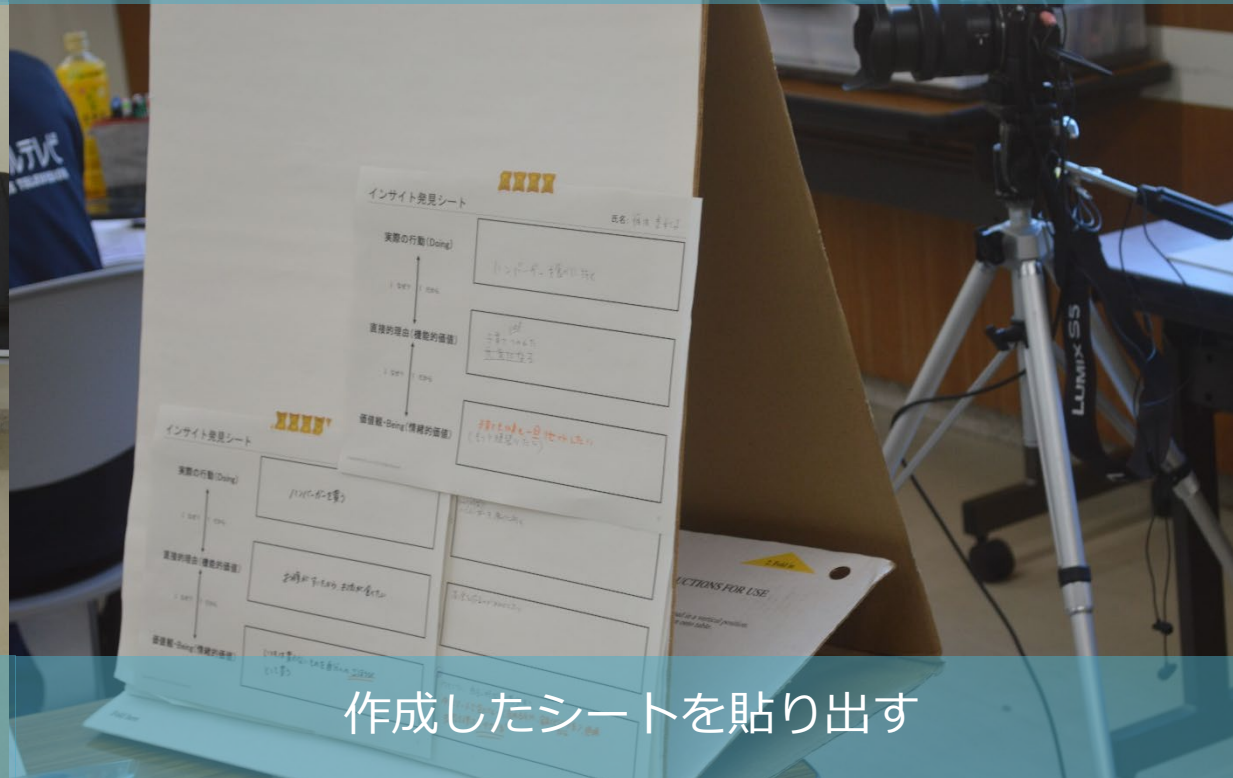
チームでアイデア出しを行う様子



講師にフィードバックを貰うグループ



グループでシートを作成する様子



作成したシートを貼り出す



チーム内での議論の様子

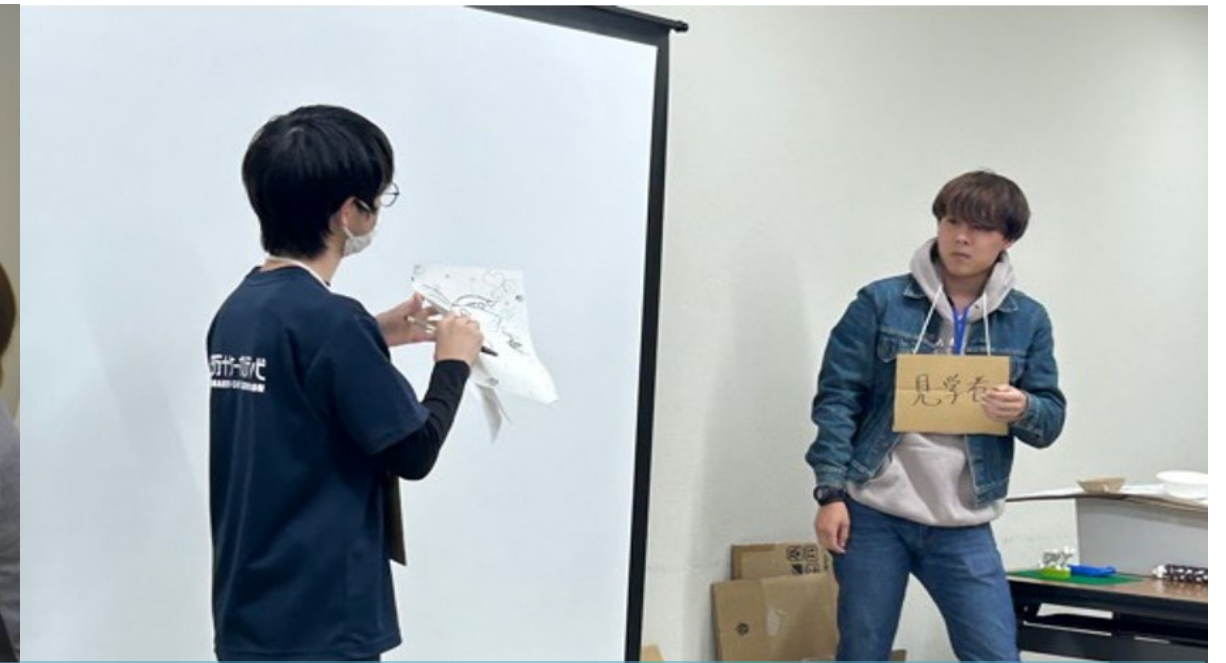
作成したアイデアを実際に動かすために、アイデア設計を様々な観点から検証を行うプロトタイピングを行った。今回は寸劇の形で実施した。アイデアを伝えるために寸劇の構成を考え、必要な小道具を段ボールや、ブロックなど様々なものを使い作成した。寸劇の準備中には、「長年工作をしてこなかったのが新鮮」、「わかりやすい構成を考えるのが大変」などの声が聞かれた。寸劇発表を行う中では、笑いが生まれるなど和気あいあいとした雰囲気で行われ、お互いのグループに対して内容のフィードバックを行うなどして、各グループアイデアを深めていった。



台本を書く学生メンター



寸劇の構成を考えるグループ



寸劇の様子



手作りで小道具を作成する様子



寸劇の様子



小道具を作成する様子

チェックアウトでは次回の講座に向けた説明が須藤より行われた。課題として、ワークで行った寸劇とは違ったプロトタイピングを作成し、想定するユーザー像に近い人たちに意見や感想をもらうことが示された。講座終了後は、各班の寸劇から感じたことを記入したメッセージカードを交換した。また、課題実施に向けてグループとしてどのようなプロトタイピングを行い、意見や感想をもらうかについて話し合うグループもあり、アイデアの実現に向けて前向きに取り組むグループが多くみられた。



メッセージカードを渡す受講生



話に耳を傾ける受講生



メモをとりながら聞く受講生



課題説明を行う須藤



チェックアウト全体の様子



交流する受講生の様子

問い合わせ先

四万十町役場人材育成推進センター

担当：中井智之・吉村愛

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

E-mail : 103060@town.shimanto.lg.jp

TEL : 0880-22-3163 FAX : 0880-22-3345

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)

担当：准教授 須藤 順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

TEL : 088-788-8077 FAX : 088-888-8043

E-mail : j.suto@kochi-u.ac.jp

Web : <https://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。